

令和2年12月7日

青森大学のむつ市へのキャンパス設置について

この度、青森大学（学校法人青森山田学園）様より、青森大学が、むつ市へ進出する基本方針を理事会において決定したとの連絡がございましたので、御報告申し上げます。

むつキャンパスは、令和4年度の開学を目指すとのことで、複数の学部を設置し、1学年20名程度の学生が学びを行う計画とのことであります。

市といたしましては、これを全面的に支援してまいりたいと考えております。

今後は、青森大学と市とで包括協定の締結に向け協議を重ね、合意次第、正式決定となります。

市の具体的な支援として、まずは、キャンパスの整備に取り組むことを考えております。場所は、下北文化会館のセンター棟を全面的に改修し、（仮称）むつ下北未来創生キャンパスとして整備いたします。

財源は、国の交付金や合併特例債を活用して行いますが、もともと予定していた下北文化会館の長寿命化計画にも基づいて実施をすることで最小限の経費で行うことを想定しております。

むつ下北未来創生キャンパスは、下北文化会館のこれまでの市民利用としての機能、青森大学のキャンパス機能に加え、連携を図っております弘前大学、青森中央学院大学及び先行して誘致した青森明の星短期大学との大学連携の拠点として、市民の皆様にも開かれた施設として整備をすることで、その機能の最大化を図っていきたいと考えております。

また、地域としても大学生の学びと就職を応援する体制を整え、3大学と1短大が集積し、むつ市の未来を共に創る（共創する）新しい大学・学びのあり方をむつ市モデルとして模索してまいりたいと考えております。

この大学の設置により、大学生と短大生合わせておよそ100名がむつ市で暮らし、学びを行うというむつ下北新時代が幕を開けます。

コロナ禍が一つの契機となって、私たちがチャンスを得ることになりました。暗く重いコロナ禍ですが、私たちはこの一報で、希望を持って新年を迎えることができます。

これからも市民の皆様、議員の皆様と力を合わせ、コロナを乗り越えて、新しい時代の創造に努めてまいりますので、本件につきましても、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。